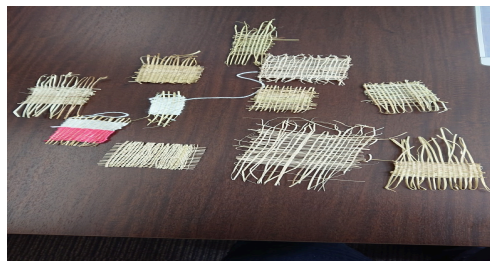


都市の自然を楽しむライフスタイル —身近な自然の発見—



「自然体験を通じてこれからの都市と自然の共存について考えていく」

Covid-19の流行により、都市部に住んでいる人々は自粛を求められる時間が多くなった。そのような期間でも快適に生活するために、自然と触れ合うことが大切であるように思う。そのため都市部の自然は私たちにとって重要なものであり必要不可欠な存在である。私たちは気軽に誰もが参加・体験できる野外フィールドワークを行うことで、都市の中の自然の重要性を再認識しこれからの都市の在り方について考えていく。それがこのプロジェクトの目的である。

- ・ミーティング、勉強会（毎週水曜の昼休み）
野外での演習
- ・潮干狩り（2021年6月26日 海の公園での実施）
- ・葛布のコースターづくり（2021年11月6日 学内実験室での実施）
- ・釣り体験（2021年12月11日 赤レンガ倉庫付近での実施）

今回の体験から都市部の自然の重要性と魅力を学びました。日常の中で気づきにくいけれども私たちは自然と関わりながら生活しています。この今ある自然を大切に後世に美しい自然を引き渡せるようにこれから努めていくのが私たちの役割です。皆さんも一度自然との共存について考えてみると新たな発見があるかも知れません。

■学生：16名（氏名：和田幸恵、垣内学、横田悠貴、田中駿、深田祐輝、春日浩輝、金澤優人、水上稀韻、東帆高、大湊颯太、杉野夏生、竹内風里、藤田里奈、柴田夕菜、吉富周、横森文哉）
担当教員：小池文人

■活動地域：横浜市